

# 一般質問通告書

佐野市議会議員 様

受付	番号	20
	令和	4年 2月16日
	午前・午後	3時00分

議会名	令和 4年 第 2回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	4番	小森 隆一
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 新型コロナウイルスワクチン接種について (1) ワクチン初回 (1、2回) 接種について  (2) ワクチン追加 (3回目) 接種について	①新型コロナウイルスワクチン初回 (1、2回) 接種実施計画 (第6版、令和3年12月発行) について、目標との比較および課題についてお伺いします。  ①新型コロナウイルスワクチン追加 (3回目) 接種実施計画 (第2版、令和4年1月発行) について、計画の概要および現状と課題についてお伺いします。 ②接種券の発送の優先順位の考え方についてお伺いします。 ③本市では2回目接種完了から6か月経過した方は、集団接種のみ、3回目の前倒し接種を可能としている。追加接種の速やかな実施に当たり接種券の早期発行の対応状況と、今後の個別接種における前倒し接種の可能性について、お伺いします。 ④電話予約がし難い状況がある。また、接種実施計画には、「本年2月までは、イオンタウン佐野に予約相談窓口を開設する」との記載がある。情報が周知されにくい状況であったと考えるが、見解をお伺いします。 ⑤本年2月7日に岸田総理から、「感染力の強いオミクロン株への対応にあたって、ワクチンの3回目接種は、発症予防・重症化予防の要となるものであり、国・自治体・企業を挙げて、2月のできるだけ早期に		

	<p>1日100万回までペースアップすることを目指して、取り組みを強化して参りたい」との発言があったが、本市の1日の接種回数目標と課題についてお伺いします。</p> <p>⑥オミクロン株に対する新型コロナワクチンの有効性について、国の第30回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（本年2月10日）の資料等では、ファイザー社製とモデルナ社製の交接種も十分な有効性が示されている。このようなデータをチラシや本市のホームページで周知する事はワクチン接種の加速化に有効であると考えますが、見解をお伺いします。</p>
<p>（3）小児（5～11歳）へのワクチン接種について</p>	<p>①同分科会では、「小児（5～11歳）の1、2回目接種における新型コロナワクチンの接種に関しては、緊急のまん延予防のために実施するという趣旨を踏まえ、今後流行する変異株の状況、ワクチンの有効性・安全性に関するこれまでの一定程度の知見、諸外国における小児への接種の対応状況等も勘案して総合的に判断し、ファイザー社ワクチンを用いて特例臨時接種に位置付ける。小児について接種勧奨の規定を適用し、現時点では、努力義務の規定は適用しないこととする。今後、最新の科学的知見を踏まえて、改めて議論する」との事となった。接種への一定理解を得ていく事は難しいとも考えるが、見解をお伺いします。</p> <p>②国としては小児への接種を開始するに当たり、保護者・本人向けにわかりやすいリーフレットを作成し、ワクチンの有効性・安全性に関する情報を丁寧に説明するとの事であるが、見解をお伺いします。</p>
<p>（4）小児（5～11歳）へのワクチン接種に向けた接種体制の準備について</p>	<p>① 本年1月28日 第11回自治体説明会資料では、「市町村は小児への新型コロナワクチン接種を小児用ワクチンの配送が済み次第、基本的に本年3月から開始できるよう、引き続き接種会場の確保に取り組むこと。都道府県は、市町村における小児への接種体制の構築状況を把握するとともに、医療関係者（地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、病院、大学など）と協力・連携しながら、医師等の専門職の派遣調整や、副反応への対応などを行い、市町村の取組を</p>

